

倭女文庫四拾編

外題雙二國文

安政六
己未春

新刊



上

倭文庫

安政六

巳未春

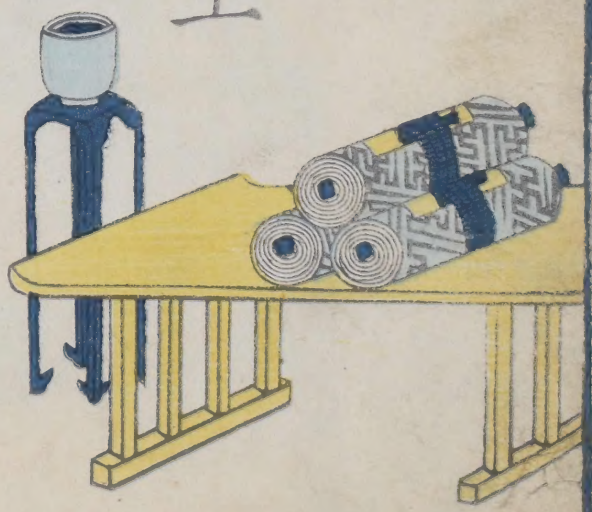
新梓

四拾編

卷之上

万亭應賀作

歌川國貞画



人形町通

上州屋重藏板

釋迦八相倭文庫四拾編叙

夫經卷亦有人物其生と死と詳みせぬ唯時宜の一條宛而
 已と説のあれども信者の同行敢て夫と尋む邂逅戯史と見て
 善惡の應報人物の始有て終るもの有べ少女も穴と穿く作
 者と諺傳甚しされば二編不發覺る阿私陀仙を此編めて
 終せ兼て抱々者の鹿野女の局或は丹車の身の終をも筆に食
 所謂彼先へも二里後へも一里のえご間の宿不休て本意を
 風と引くけくくの氣障を除く爲あるなり

安政六巳未年
孟陬吉旦發行

万亭應賀誌



天女 実性妙顔



提婆達多

提婆達多
伊奈利国香
仙の峯あはれ
偽の天女を
阿闍世太
子に媒妁を

阿闍世太子



世尊

加毘羅城の

上鴈衆

世尊の法衣

と献ぎ

舍利弗尊者



優艶妻の女房

加毘羅城の

女中

好容夫人

鹿野の
月

大女中



25

石

卷之四

不

生

てた

卷之五

大子

乃

習

その

卷之四

卷之五

卷之五

卷之五

卷之五

卷之七

古

氣

185

五



24

相失

卷之五

卷之四

美

山と天を

上

五

卷之六

卷之五

意

不

工との事

上

卷之六

萬壽無疆

○いふ所のもの
と母の月日と
なればゐして

萬曆二十五年

もろともあつてはよくは
かゝるやうな角のあつて正

其の二つは、その二つは、

わんざんりやう

卷之五

卷之五

卷之六

卷之四

卷之四

でまぬ

正史文苑

...

天啓元年

卷之四

天

十

卷之四



[illegible]

仙の
あそび
あそび

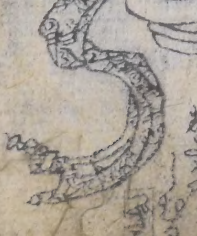
方あるべきことを示す

ちかきせうど
ちかきせうど

[illegible][illegible]


 〇つてゐるやうな
 まゝのまゝのまゝ
 おろく五葉たふらふにそふも
 みゑれあつちのやうちうちのやう
 せうよりしてゐるものやうに仙臺あつ
 

とく東
来りてふた
甘き夕つよ
さくらりと
正おきうら
あやけはな
あやせのまじ
まじらうをびで
そがれを
さぐりて
なるみこころ
いざなつる
わかれのむね
けしきあるべ
とあり
あすの
あやう
うにこそ
う天女の
けふもなき
あふきの



8

應賀作國貞画

倭文庫出世双六

應賀作
豊國画

春の将棋双六

同作
貞房画

男女役替双六

振合
役ある、うに色しれあり

同作
同画

武家奉公出世双六

同作
豊國画

奥奉公出世双六

同作
同画

子寶延命袋

同作
同画

紅摺全二冊

重榮御江戸繪圖

奉書四枚半つた

大寶御江戸繪圖

極上摺奉書六枚半つた

